

吾亦紅モジリアーニの首伸べて

今村博子

〔稲〕二月号

吾亦紅は山野に自生する高さ六十から九十センチメートルの草花で秋の季語である。その花は暗紅紫色で、源氏物語に「物げなきわれもかう」と出ているようにあまり目立たない花である。しかし、そのほっそりとした姿はモジリアーニの描いた首や顔の細長い人物像によく似ていることを作者は発見したのである。「の」は「の」のように」という意味で、どこか寂しげで風情のある秋草を喩えている。